

おかあさんをだいにすること

☆5がちは、ははのひがあります。ははのひは、おかあさんにかんしゃするひです。でも、ムスリムは、ははのひだけでなく、いつでも、おかあさんにかんしゃします。ウルアーンにも、よげんしゃさま（ﻻﻟﻪ ﻣﺎ ﺷﺎﻛﻮﺭ）のハディースにも、おかあさんをたいせつにすることがどれだけだいか、なんどもべられています。

☆まず、おかあさんは、あなたがまだおなかのなかにいたとき、とてもたいへんなおもいをしました。ねるときも、どこへいくときも、おなかのなかにあなたをかかえていました。からだがいなくなることもありました。また、あなたがうまれたあとは、まいにち、おっぱいをあげたり、おむつをかえたり、ときには、ねむることができないひもありました。



☆よげんしゃさま（ﻻﻟﻪ ﻣﺎ ﺷﺎﻛﻮﺭ）は、「だれにいちばん、よくせつするべきですか？」とたずねられると、「あなたのおかあさんです」といわれました。そのつぎは、だれですか？」ときかされると、また、「あなたのおかあさんです」といわれました。「それからだれですか？」ときかされると、3かいめもまた、「あなたのおかあさんです」といわれました。「それからだれですか？」といわれて、ようやく「あなたのおとうさんです」といわれました。それほど、わたしたちは、おかあさんをだいにしなければいけません。

☆よげんしゃさま（ﻻﻟﻪ ﻣﺎ ﺷﺎﻛﻮﺭ）は、

الْجَنَّةُ تَحْتَ أَقْدَامِ الْأُمَّهَاتِ

アル・ジャンナトゥ・タフタ・アクダーミ・ル・ウンマハートゥ
(ジャンナはおかあさんのあしもとにあります)

とおっしゃいました。それは、おかあさんのいうことをきき、おかあさんをよろこばせることを、できるだけしなさい、そうすればジャンナにいけますよ、ということです。

☆りょうしんがよろこんでいるひとには、ジャンナのふたつのとびらがひらきます。そして、りょうしんがおこっているひとには、ジャハナムのふたつのとびらがひらきます。

☆りょうしんをまんぞくさせると、アッラーをまんぞくさせることになり、りょうしんをおこらせると、アッラーをおこらせることになります。

☆アッラーは、クルアーンのなかで、りょうしんにたいして、おこつて「ウッフ」といってもいけないとおっしゃっています。「ウッフ」とは、おこつたときのためいきのことばです。ためいきすら、いってはいけないのですから、ほかのらんぼうなことばはけつしてゆるされません。

☆おやふこうとは、おやのよろこばないことをすることです。おやふこうは、とてもおおきなつみで、シルクをするのと、おなじくらい、わるいことだといわれます。



☆3にんのおとこが、たびのとちゅう、あめがふってきたので、どうくつのなかにはいって、あまやどりをしました。すると、いわがிரいぐちにおちて、3にんはどうくつのなかに、とじこめられてしまいました。そこで、3にんは、それぞれがおこつたよいことをかたつて、アッラーにたすけをもとめることにしました。ひとりのおとこはひつじかいでした。かれはまいにち、ひつじからしぼつたミルクをまつさきに、りょうしんにのんでもらっていました。あるひ、いえにかえると、りょうしんはすでにねむっていました。そこで、かれは、りょうしんのよこにたつたまま、かれらがめをさますのをまちました。こどもたちが、ミルクをのみたくなきましたが、じぶんのりょうしんよりさきにあげるのはよくないとおもつて、とうとう、あさまでそつしてたつていました。かれは、アッラーのために、アッラーのめいれいをまもつて、そのようにしたのでした。そういつて、おとこがアッラーにいのると、どうくつをふさいでいたいわは、すこしうごきました。ほかのふたりのおとこも、それぞれのやつたよいことをいつてから、いのると、どうくつのいわは、おおきくひらき、3にんともそとにでることができました。

おやこうこうのほうほう

- ・りょうしんのいうことをきく（アッラーのめいれいにはんしないかぎり）
- ・いろいろなほうほうで、りょうしんをよろこばせる
- ・おてつだいをする
- ・りょうしんをかなしませるようなことをいつたり、やつたりしない
- ・りょうしんがとしをとつたら、めんどうをみる
- ・りょうしんのしんせきとなかよくする
- ・りょうしんのために、いつもドウアーをする

「ラツビルムフマー カマー ラツバヤーニー サギーラー」

「ラツバナグフィルリー ワリワーリダイヤ ワリルムウミニーナ ヤウマ ヤクームルヒサーフ」

